

どうかというよりは先ほどもから市長が申しあげたようなわけで、一応
連絡会ということも久居の市長さんから連絡がきて、是非出ていた
べきという要請もあり、会長、副会長が全部寄りまして新潟県
の豊栄市にまいったわけでございますが、そのときまたまた向うの選
挙の候補者に助役さんや候補者されておるようでした。豊栄市
は最初から副会長をしており、全部助役さんがきておりたということど
いふには全部欠かさず助役さんが来ておりたようでございます。
そういうことでまたまた我々がありましたので要請がありましたのでま
いったわけでございます。そのとき選挙には候補者が三名出ておった
ようでございしますが、一応事務所にはいりまして、そのほかついで市内を
見せていただきます。帰るまでいたようなわけでございます。

○二丁四番（石川信義君） どうも理解に苦しむんですが、新市になるに
きに強烈な運動を、私が議長当時いったときに新潟県の豊栄
市等はたしかに助役が来たり臨時議長が来たり豊栄は会議に
は全部市長も来ないという点から考えましても、こういう事情であ
ろうと福生市議選の二十五日投票日という近い込めという最も

豊栄は時期に、別に事故がなかったからよかつたものの、こいばがへ事
故がある市長は遠く新潟県の候補の選挙応援にいつてるといふこ
とでは大変なことになると思いますが、そういう点私もある程度了解
したいとは努力はしておりますが、私の長い議会経験からいしまして、

当り中あげその大きな選挙戦に市長が、私には関係ない、——というよ
うな言葉を残して遠く新潟県までいつてしまうというところは近年
にはないと思いますが、その点もう少し本當のことをいつてもらって、もう
少し住民に申し開きのできるような知恵をしぼって仲間を願いたいと
思います。

○市長（石川常太郎君） ほかの申しあげることはいんですけれども、新市の
協議会の会長の久居の市長からは是非出席してくれという連絡があり、
会長命によつてまいったわけでございまして……（会長命という
んでは強しにしろないよ。）と云う者あり）……

○二丁四番（石川信義君） 会長命とは福生市の選挙戦中に、行政の責任
者が一歩どうら重要視しているのか、
○市長（石川常太郎君） 会長命といふと……（今会長命といふよ。）

と云う者あり。副会長全部「よくこれという連絡がございまして、まいたためでございます。」

○ネテ四番（石川常太郎君）^{信義} 会長の方という連絡を設けたとしても、福島は今選挙戦で追い込みで、とにかく二十五日投票日でもいらないというとはできなかったのですか。

○市長（石川常太郎君） 私の不明でございましてこの点に認む申しあげますが、大変だとは思いますが、外務省の接渉も大切だと思っております。その点、深人反省いたします。

○ネテ三番（塩野鉄文助君） 暫時休憩願います。

○議長（米次性男君） 暫時休憩いたします。

午前十一時四十分 休憩

午後一時 二分 開議

○議長（米次性男君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

○ネテ四番（石川常太郎君） 私の質問はこれで全部終了します。

○議長（米次性男君） 次にネ番 松山清君

（ネ番 松山清君 登壇）

○ネ番（松山清君） 三點について一般質問をさせていただきます。

最初に横田基地についてですが、関東周辺基地の移転集約と松長についてどのように対処するのかご質問いたします。

横田基地は一月十日の横田外務大臣の関東周辺の米軍基地を横田に統合するとの談話、引き続いて発表された基地の南側分の国有地拡張、さらに三月一日付けの読売新聞の地新聞にも報道された米軍航空機関与であるハーバード氏の原爆を横田に運んだという証言も、横田基地と一途とつながる文川基地への三月七日の自衛隊の強行移駐は、福島四万市民はもとより全国民の平和と安全を脅かすきわめて重大な問題であります。

えんも今この横田基地はらびに文川基地にかかると一連の動きの背景は、強硬、ニクソンのサンクレメンタにのりる会議で日本安全保障条約の重要な役割を再確認、アメリカのインドシナ侵略



一 股貸内 (松山)

戦争のますます失敗するなかで、アメリカのインドシヤ侵略をアジ
ア人に肩あがりさせて、アジヤ人同士を斗わせるというヘクソンドクト
リンといわれる侵略態勢に日本が深くみ込まれて、軍国主義
復活をますます強化することか予想されることかうきていることばき
わめて明白であります。その端的なありわれとしては四十七年度
政府予算での八十億円以上の防衛予算、および閣議決
定もしてなぐ急拠決定して国会で大問題になつてゐる第四防衛
先取りなどばきわめて明瞭であります。このようなカンクメンテにお
ける日米会談のなかのワジャース国防長官の関東地区の米軍基地
を横田に集約するといふ構想を發表した福田外務大臣の談話は、
横田基地中心の再編強化を日本政府として初めて公的に認めた
ということであります。一昨年七月五日から米戦略輸送機
花利、C54ヤラクシーがふんばんに飛来してゐります。これはア
メリカと同盟関係にあるアジヤのいくつかの国の政府と連隊に、集
積米軍が引き受けていた任務を肩あがりさせ、いざというときに
はC54ヤラクシーを敵遂に大量の兵力を送り入れることも

福生市議

指原
指原

できる侵略態勢が違ひてゐることであり、横田基地は巨大なアジヤ
地域をどこでも、いつでも侵略ができる態勢、強力は軍事力を
転回できる地域でアジヤにおけるアメリカの同盟国である諸国を支配
配下におこうとするヘクソン戦略のなかめ石としての重要な役割を
果してゐりますこの基地が、再編強化されることを基地の整理とい
ふ事で進められつゝ、これを歓迎するといふ福田外務大臣の発言
はきわめて重大であると思ひます。

このように再編強化される横田基地に離着陸する飛行機を
誘導するために設置されるミドルタワーという信号所は、防衛
庁等についてゐるような住民の安全を目的としてゐるものでなく、いか
なる天候のもとにいてもふんばんに飛来してゐるジェット機を計画的
飛行によつて着陸させることかできるようにするものであります。
まさしく基地の強化と拡張にはかぎりません。しかも横田基地を拡張強
化するなかで横田司令官の管理下にある立川基地に自衛隊を強化
制して、日米共同防衛態勢の強化もはかつてゐります。
このように横田、立川基地がアメリカ、日本、アジヤ諸国の支配と侵略

略の要である基地であり、市長が考えている国策に任せてやるというのと別に危険なものであるかも知れない。競走新南にも明らかのように原爆が横田に落ち込まれたということが教訓道さの通り、市長のところにきてる態度は四万市民の安全を返りみないきわめて無責任な態度といわざるを得ません。このことは市長の施政方針、針路の中にもはっきりいわれていると思います。健康で、安全で、快適で、能率性のある街造り云々を掲げておきながら、福矢市をそのような街にするためには横田基地の撤去はなくては考えられないはずであります。しかるにいまを見てみるとそれは出ておりませんし、福矢市民の頭上に爆音をまき散らしているジェット機を認めたりはやはり、健康で、安全で、快適で云々という街造りは実現いたしません。

私は以上のようなことを指摘する中で現在市長が横田基地に対する考え、又関東周辺地域の横田基地への移転集約、又ミドルカーと呼ばれる後号所の拡張問題、それから原爆を横田に運ぶ込んだという元来軍兵士の証言に対する考え、文川基地への

自衛隊の強行移駐についての市長の考え方を等について明瞭に答弁をしていただきたいと思います。

第二番目の公共施設整備計画の実現、見通しについてですけれども、これは昨日この件について田村議員さんから質問され重複いたしますので、細かい点については今後の予算審議の中で進めさせていただきますので省略いたします。

第三番目に老人および乳児医療費の無料化実施について計画があるかどうか質問いたします。

今日は高齢人口の増加により老後問題は国民生活の大きな関心事になっております。こういう中で東京都は国に先駆け、所得制限つきであるが、七十歳以上の老人医療化を実施してきました。又乳児の医療費についても三人まで供与するとか一月五ヶ月以上も医療費がかかるといふことも聞いております。又自費負担が病院にいくのも差しかえ、病気の発見が遅れ死亡率も高くなる等これらの世代をにらみ、決ちの成長に促してきわめて敏に現実であります。これを解決していただくために東京都や文川市等は乳

児医療費の無料化を実施すべく調査費を組んできております。本来これは国がやるべき仕事であります。国はこれらの社会保険料を充実するのではなく、軍国主義復活のための予算に莫大なる資金をつぎ込んでいくのが現実であります。しかし多くの自治体等では国の福祉政策をまっぴりではなく、厳しい財源の中でも老人と子供、生命の問題として積極的に進めてきております。福山市においても健康で、安全で、快適な社会を実現するための街造り云々を言ふ案だりに終らせるのではなく、実際に実行していくために当面ゼロ予算と六十才以上の老人の医療費の無料化実施を当面独自に実施すべきだと考えております。

市長のこれに対する考えを新聞から願いたいと思っております。以上簡単ですが、二点について一般質問いたします。

(市長 石川常太郎君登壇)

○市長(石川常太郎君) お答え申し上げます。

先一番目の横田基地の問題でございますが、お説のとおり基地はいろいろ一番よろしいのでございます。私も基地の一日も早く撤去される



ことをいぬかい、又とあることに関係方面にいきまうとは基地撤去につきましても願っています。ただ非合法的な撤去の方法は取りたいでおります。表現は大変へたでございますけれども、例えば私が実際に立ち入りまして私が監獄に入りましてやったところでも基地撤去はできないということでございます。そういうことでございますのでまことに市民には申しわけない次第でございますが、非合法的には撤去を表に出すことはできないということでございます。

最初の関東周辺基地の移転集約でございますが、これにつきましてはまだどのようなものが移ってくるかということも全然わからない状態でございます。一日も早く情報もマックスするように心がけておりますけれども、今のところまだ当面取らない状態でございます。福田外務大臣の発表後、福田外務大臣はいろいろ以崎市長、防衛施設局長等に議会ともども面談をいたしましたことはお承知のとおりでございます。大変に基地対策委員の方々にはご協力をいただいたわけでございます。

その際、大臣の言明は横田基地は将来拡張することは絶対にはないということ、それだけは必ず約束するということを申うされております。

ので、大臣の声明ですのだから基地の拡張は少くともないと思ひます。
またあるは大変なことだと思ひますし大臣の声明をいただいたわけ
でございまして、万が一今後拡張のようなことがありまうたらどんな
手段をもうしても阻止しなければならぬと思ひております。
ミドルマーカールにつきましては外務大臣の談話発表以前からの話
しでございまして、これは飛行機がめづるうが少くはうがとにかく着
陸に安全ということだこれはやむを得ない施設であると思ひております。
原爆につきましては過去のことだと思ひますけれども、われわれは日本
政府を強いてまいっております。われわれが原爆があつたかどうかとい
うことをたゞいま調査する手だてはございせんが、そのうちに国におきまして
結論が発表されると思ひます。万が一原爆があつたということである
はうばたとえ過去のことでありましようともわれわれは強ひていたものに
裏切りぬたわけだと思ひますので、大まかに抗議を申込みたいと思ひてお
ります。

大川基地への自衛隊移駐に関しましては、地中のことだと思ひます
ので私どもはよく批判を申しあげざるべきものではなないと思ひますし、

地中につきましても云々することはスチラットにも反することと思ひますので
批判は差し控えたいと思ひます。

取りまとめまして、基地に對しましては市民の方に大変な迷惑をかけ
おります。最近には朝六時頃より爆音が出たといふようでございます。

今後横田基地への物販集約ということだつて定まっておりますので、又千葉
県におきましては成田空航に對する一戸一戸の防音の起爆を止すとい
うこと、それ又国におきましても昭和四十八年度から民間航空機の飛
行場周辺の民家に對しまして防音装置の予算を止すということも
伝えられております。時期がわりでございますので一大決心をもうま
して大きな面々を、防音施設に申し入れたいと思ひております。
なおその際には是非ともご協力をお願いしたいと思ひます。次でござい
ますが、市民に大変な迷惑をかりております、その中で健康、安全を願うと
いうことだと思ひますので、今度こそありあるような大きな運動をへる
決心をもうしてあらうなければならぬと思ひておる次第でございます。
よろしくご協力のほどをお願い申し上げます。

乳児と老人の医療の関係でございますが、福生市には七十才以上の

方が八百二十九人おられます。ただいま六十才以上というお話しを聞いています。したけれども、ええ、いざ然然でもなるべくこうした方面にどう算をきかばければならぬことも重々わかっている。大変よろしいこととお聞きします。七月一日から都におきましては七十才以上の方々の無料化が実施されますので、わずかのかりでございまして市ではこのまま都にお願いたします。現在申しわけない次でございしますが、老人に対する医療につきましても現状のままでもいりたいと思っております。又乳児につきましては都の富裕な市におきましてもまだ実施している所はないようございします。この点もどう解いたいただきたいと思う次第でございします。なお細部につきましても担当課長から申しあげたいと思っております。

○市民課長（森田武男）　ただいま市長が答弁いたしました点について補足説明をいたします。

ただいま六十才以上の無料化というご意見が出されましたが、実際高齢人では毎年ふえております。それと家族化が進行しましては老人が病氣等になった場合大きな社会問題となつてくるということ

とで、東京都ではとりあえず四十八年一月から福祉年金を実施するというもの、七十才以上ですが、現在実施しております。さらに七月一日から先ほど市長が申しましたように福祉年金全体のほとんどの老人が無料化に該当されるということになるわけでございします。ただいま六十才に年齢を引き下げることではございしますが、東京都が実施する無料化においても対象外になる老人もおるわけでございします。むしろ年齢を引き下げるかあるいは対象外になる老人を救うか選別の問題ですが、やはり対象外になる老人の方が優先するうちに考えられるわけでございします。これらについては今後研究していきたいと思っております。次に乳児の無料化でございしますが、これもいろいろ市長がいうように現在富裕な市においても実施している所は見当らないようでございします。ただ乳児の場合肢体不自由児あるいは先天的疾患があるとか耳が聞こえないとかいう身体に障害のあるようなものに対する医療については、それなりの状態によりまして高い金額で入院できるとかあるいは通院ができるという制度もございします。現在の乳児医療についてはその制度でございします。

○イ香（松小清君）基地関係からやうにしたいと思ひますが、自席から再質問をさせていただきます。

市長は一日も早く入ることを願つてゐるとおっしゃいますけれども、この前に非合法的な手段は取らないと、これはあたりまえのことだと思ひます。又、このうばかなことをせよと赤軍派のやうになつてしまふわけで、市長は一日も早く願つてゐるということでもございませうけれども、私はこのこととはつまりは国策にまつたということにしか取れないわけでございませう。ということは一日も早く願つてゐることは最後にはありある運動にしなければならぬ決心であるということをおっしゃいますけれども、やはりある運動というのは具体的にどういふふうにするのか、その点に聞きたい。それから拡張するということはないという大臣の言葉を信ずるということとでなければ、実際には市長は昭島のミドルマーカが拡張ではなと考へてゐるのかどうか、昭島の市民はもとより市長を含めてこれは基地拡張だと怒氣を強めてゐるふうにいふところのわけでもございませう。この点ももう一度お聞きしたい。

それから原爆の問題については日本政府を信じてゐるということですが、

信じてゐる日本政府が一つ基地交付金の問題にしても要求額すら出してきておられないわけだ。ましてや信じてゐる政府が四次防問題で大きなことをやったわけだ。これは天下周知の事実だ。こういう政府を原爆の問題でも信じてゐるのかどうか。これは市民からみればこの問題が事実とすれば原爆をまくらにして寝てゐたということになります。幸い事故が起きなかつたら今まで知らずにすんでゐたんですけれども、私は私も私は遅いという証言を本人がしてゐるのに、これはきつめて確実性が高いと考へてゐるわけだ。しかしそういうことがあるにもかゝらず日本政府をへてに信じてゐるということですが、今後もうそんなふうな態度をとる人々ではないかと考へられますけれども、もっと強引下げて答弁をしていただきたいと心づかう。

○市長（石川常太郎君）自席から再質問をさせていただきます。

最初の部分からよくわかるなかつたのですが、基地があり、しかも拡張されたという段階ではなるべくその代償を公計に取りたいということでもございませう。

昭島のミドルマーカはふさい場所ですがたしかに新しくなつたもので

すかり拡張でしょう。ただより力に依る計画が早くすすむと前からありまして、その連絡が非常に悪かったということでございます。そういうことでこのたびの外務大臣あるいは防衛庁長官の拡張しないという言葉の前の言葉ということにばるっておりまして、たしかに拡張は拡張だと伺います。

それから原爆の件ですが、これは日本政府を強ひていふと申しまうたけれども、過去にについても原爆があつたとはばるばるは私は私も抗議を申し込まざるを得ない。日本政府を強ひて「原爆がない」ということを強ひていたわけですから、これを裏切られたわけでございます。すかもし過激にわつてあつたならば最大の抗議を申し込まなければならぬというふうに申しあげたわけでございます。

○千香（松小清君） この原爆の問題ではこの関係の抗議、今まではいろいろ問題が出たときにいう早くいったんですけれども、この問題についてはもう関係方面に抗議は行動をとられたんですか。

○市長（石川常太郎君） 現在政府におきまして原爆があつたかどうかということも調査中ということでございます。現在その結論までござ

います。政府にたいしてはいという結論が公表された場合には抗議をするということもかと思ひます。あつたというときには嚴重な抗議をいたしたいと思ひます。

○千香（松小清君） そうしますといつてはいということですね。それから健康で、快適で、能率性のある街造りということですが、これは当然、基地があることを前提にした上に立その街造りということか。

○市長（石川常太郎君） そのとおりでございます。

○千香（松小清君） そうしますと、市は基地があるをジスツト機が飛んでいても健康で、安全で、快適な街造りができると考えて、またできるといふふうにとはいわけてですね。

○市長（石川常太郎君） できるだけのうにより一層近づけていかなければならぬと思ひます。

○千香（松小清君） この問題は議員だけの問題ではなく最終的には四万市民がどのように判断するかにかかるといふこと。この問題についてはもうすでに四万市民が判断するわけですから、私はもう判断していただきたいと思ひます。